

番号	質問種別	質問概要
問 1	回答者種別	調査票の記入者
問 2	年齢・居住地域	障がいのある方の年齢
問 3	年齢・居住地域	障がいのある方の居住地域
問 4	障がいの状況	回答者の身体障がい者手帳の有無
問 5	障がいの状況	身体障がい者手帳の種類
問 6	障がいの状況	療育手帳の有無
問 7	障がいの状況	精神障がい者保険福祉手帳の有無
問 8	障がいの状況	難病認定の有無
問 9	障がいの状況	発達障がいとして診断有無
問 10	障がいの状況	高次脳機能障がいとして診断の有無
問 11	日常生活の状況	暮らしの状況
問 12	日常生活の状況	住まいの希望
問 13	日常生活の状況	問 12 で「3. グループホームで暮らしたい」～「5. 病院に入院したい」を選択した方、その理由
問 14	日常生活の状況	問 12 で「3. グループホームで暮らしたい」～「5. 病院に入院したい」を選択した方、入所・入居に関する検討の状況
新規	日常生活の状況	問 14 で「4. すぐには入所するつもりはない」を選択した方、いつ頃（何年後くらいに）入所したいと思うか
問 15	日常生活の状況	日常生活の状況
問 16	日常生活の状況	問 15 で1つでも「一部介助が必要」・「全部介助が必要」・「一人でできる年齢になっていない」を選択した方、介助や介護の実施者
問 17	日常生活の状況	問 16 で「1. 親」～「5. 子（子どもの配偶者を含む。）」を選択した方、主に介助や介護する方の年齢
問 18	日常生活の状況	回答者は、主な介護者が突然介護ができなくなった場合、介護を頼める人の有無
問 19	日常生活の状況	介護する上での悩みや問題
問 20	日常生活の状況	生活費の状況
問 21	障がい福祉サービス等の利用	利用しているサービス種別
問 22	障がい福祉サービス等の利用	各サービスの今後の利用意向
問 23	障がい福祉サービス等の利用	サービス利用決定等の自己決定
新規	障がい福祉サービス等の利用	問 21 で「福祉サービスを利用していない人の詳細」 ①自身で活動でき必要がないから②家族等の支援で必要がないから③介護福祉サービスを活用しているから④福祉サービスについて相談できる人がいないから⑤相談したが、希望する事業所の定員を満たしていたから⑥制度をよくわからないから⑦その他
問 24	障がい福祉サービス等の利用	障がい支援区分の認定の有無
問 25	障がい福祉サービス等の利用	要介護認定の有無
問 26	障がい福祉サービス等の利用	サービスの利用全般の困りごと
問 27	障がい福祉サービス等の利用	障がい者が地域で安心して暮らし続けるには
問 28	障がい福祉サービス等の利用	障がい情報や福祉サービスなどに関する情報入手先
問 29	就労、就学、日中活動	平日の日中の過ごし方
問 30	就労、就学、日中活動	近所づきあい
問 31	就労、就学、日中活動	外出の状況
問 32	就労、就学、日中活動	就労（就労系サービスを除く。）の状況
問 33	就労、就学、日中活動	問 32 で「1. 就労している」「2. 就労していないが、就労したいと思う」を選択した方、希望の働き方
問 34	就労、就学、日中活動	問 32 で「1. 就労している」「2. 就労していないが、就労したいと思う」を選択した方、仕事をする上で、必要なこと

番号	質問種別	質問概要
問３５	就労、就学、日中活動	問３２で「２．就労していないが、就労したいと思う」を選択した方、現在就労していない理由
問３６	就労、就学、日中活動	問３２で「５．就学中など就労する年齢ではない」を選択した方、これから就学する学校、現在通っている学校で、希望する環境
問３７	就労、就学、日中活動	問３２で「５．就学中など就労する年齢ではない」を選択した方、学校卒業後の進路
問３８	就労、就学、日中活動	この１年間、この１週間に、活動した内容。今後、活動をしたい内容
問３９	防災活動	家に一人でいるときに災害などが起きた場合、介助者の存在
問４０	防災活動	災害などが起きて避難所等へ向かう場合の移動手段や支援
問４１	防災活動	避難所での生活を送る上で、必要なこと
問４２	防災活動	災害時に備え、障がいに応じた物品用意状況
問４３	医療	かかりつけ医の有無
問４４	医療	診療の困りごと
問４５	医療	かかりつけ歯科医の有無
問４６	医療	歯科診療の困りごと
問４７	医療	医療的ケア（気管切開、人工呼吸器、吸入・吸引、経管栄養、人工透析、服薬管理、在宅酸素療法など）の状況
問４８	相談、情報収集	悩み等の相談先
問４９	相談、情報収集	相談内容
問５０	相談、情報収集	障がいが原因で、家族や介護者以外の人との意思疎通に困ること
問５１	相談、情報収集	問５０で「１．よくある」「２．時々ある」を選択した方、どのような場面か
問５２	相談、情報収集	日常での情報取得手段
問５３	相談、情報収集	日常での情報機器の利用状況
問５４	相談、情報収集	インターネットの利用
問５５	権利擁護	地域共生社会の認知度。また、このような地域社会のあり方についてどのように考えるか
問５６	権利擁護	障がい者差別解消法施行時と比較した、障がい者に対する差別や偏見は改善状況
問５７	権利擁護	豊田市地域共生社会の実現に向けた相互理解の促進及び意思疎通の円滑化に関する条例の認知度
問５８	権利擁護	この１年間で差別を受けたり、偏見を感じたことはあるか
問５９	権利擁護	問５８で「１．よくある」「２．時々ある」を選択した方、どのような状況
問６０	権利擁護	家族や介護者以外の人から手助けや配慮をされて助かった経験例
問６１	権利擁護	問６０で「１．よくある」「２．時々ある」を選択した方、どのような状況で
問６２	権利擁護	障がい者への理解や配慮をより深めていくために、必要なこと
問６３	権利擁護	成年後見制度の認知度
問６４	暮らしやすさや今後のまちづくり	障がい者にとって、豊田市は暮らしやすいまちだと思うか
問６５	暮らしやすさや今後のまちづくり	問６４の回答の理由は
問６６	暮らしやすさや今後のまちづくり	将来に向けて不安なこと
新規	暮らしやすさや今後のまちづくり	不安なことの解消に向けて、望むこと ①生涯に渡り、安心して生活できる場の確保②家族等以外の相談相手（信頼できる人）がいること③緊急時の対応等、行政サービスの充実④その他⑤望むことはない
問６７	暮らしやすさや今後のまちづくり	障がい者が地域のなかで自分らしく、安心して暮らしていくために、取り組む内容

番号	質問種別	質問概要
問 1	住まい・家族構成等	年齢（令和 4 年 9 月 1 日現在）
問 2	住まい・家族構成等	住まい（地区）
問 3	住まい・家族構成等	世帯家族構成
問 4	住まい・家族構成等	職業
問 5	障がいのある方との関わり	身近に障がいのある方の有無
問 6	障がいのある方との関わり	障がいのある方と関わり
問 7	障がいのある方との関わり	問 6 で「8. 関わりを持ったことがない」を選択の方、関わりを持った経験がない理由
問 8	障がいのある方との関わり	生活の中で障がいのある方と関わりを持とうと思うか
問 9	障がいのある方との関わり	住まいの地域で障がいのある方が困っていたら、その人にどのようなことができると思うか
問 10	障がいのある方との関わり	災害が起きた際、地域に住んでいる障がいのある方への支援をすることについて、どのように思うか
問 11	障がいのある方との関わり	就労している方（問 4 で 1 ～ 4 とお答えの方）、勤め先で、障がいのある方は働いているか
問 12	障がいのある方との関わり	問 11 で「1. 障がいのある方が雇用されており、職場が同じなどでよく知っている」を選択の方、勤務先での障がいのある方が働きやすい工夫
新規	障がいのある方との関わり	障がい福祉事業所のイメージ、就労の意識 1、自身が働く際に最も気にする点、2、障がい福祉事業所にどのようなイメージあるか 1、①賃金②やりがい③勤務時間（フレックス制等）④勤務地（自宅からの近さ）⑤福利厚生⑥職場環境⑦その他 2、自由記載
問 13	障がいのある方との関わり	この 3 年間に、障がいのある方が作った商品の購入の有無
問 14	障がいのある方との関わり	問 13 で「1. 買ったことがある」を選択された方に、商品をどこで購入したか
問 15	障がいや福祉に関すること	「障がい」や「障がい者福祉の制度」などに関する情報の入手先
問 16	障がいや福祉に関すること	障がいのある方のことや障がい者福祉についての関心
問 17	障がいや福祉に関すること	「地域共生社会」という言葉を聞いたことがあるか。また、地域社会のあり方についてどのように考えるか
問 18	障がいや福祉に関すること	障がい者差別解消法の認知度
問 19	障がいや福祉に関すること	障がい者差別解消法が施行された頃と比べて障がいのある方に対する差別や偏見は改善していると思うか
問 20	障がいや福祉に関すること	令和 3 年 4 月に施行した「豊田市地域共生社会の実現に向けた相互理解の促進及び意思疎通の円滑化に関する条例」についての認知度
問 21	障がいや福祉に関すること	障がいのある方に対する理解や配慮をより深めていくためには、どのようなことが必要か
問 22	暮らしやすさや今後のまちづくり	障がいのある方にとって、豊田市は暮らしやすいまちだと思うか
問 23	暮らしやすさや今後のまちづくり	豊田市暮らしやすさ
問 24	暮らしやすさや今後のまちづくり	障がいのある方が地域のなかで自分らしく、安心して暮らしていくために、どのような取組を進めていくべきか

番号	質問種別	質問概要
問 1	法人の運営状況	豊田市内での①提供状況、②今後の意向、③不足感について
問 2	法人の運営状況	今年 4 月から現在まで、利用者からの依頼に対し、受け入れできなかったことはあるか
問 3	法人の運営状況	問 2 で「1. ある」を選択した法人に受け入れ（提供）できなかったサービスは
問 4	法人の運営状況	事業所定員の増員や新規参入が進まない理由は
新規	法人の運営状況	問 4 で「一部のサービスで増加が進まない事業」について、本市で最もサービス増加が進んでいないと考えるサービスを 3 つまで選択し、それぞれ効果的な対応策はどのようなか ※（問 3）の選択肢から 3 つまで選択 ①指定を受けるための最低基準を満たすための負担が大きく事業展開が難しいため、最低基準の見直しがあれば事業展開を考える。 ②加算要件が厳しく加算を取得するための事業負担が大きいため、加算要件の緩和があれば、新たな事業展開を考える。 ③職員確保又は処遇改善を図るための人件費の補助があれば、事業展開を考える。 ④新規事業所開設等において、土地や建物に費用的負担が生じるため、限定的でも補助があれば事業展開を考える。 ⑤有資格者の確保に課題があるため、有資格者育成の研修や人材バンク等があれば事業展開を考える。 ⑥人材育成に課題があるため、市で研修の実施等が多くあれば、事業展開を考える。 ⑦現状維持で、新たな事業展開は考えられない。 ⑧その他（自由記載）
問 5	人材確保	人材確保にどのような課題があるか
問 6	人材確保	離職事由の要因は
問 7	人材確保	人材確保のため、どのような取組をしているか
問 8	人材確保	人材定着・離職防止のため、どのような取組をしているか
新規	人材育成	人材育成にどのような課題があるか
新規	人材育成	人材育成のため、どのような取組をしているか
問 9	行政からの支援	今後の事業運営にあたり、行政等の関係機関からの支援で最も必要なものは
問 1 0	行政からの支援（変更・追加）	豊田市では、地域生活支援拠点整備事業に取り組んでいます。どのような取組を特に進めていくべきか 制度の認知度や緊急時の対応の理解やつなぎ先の認知度
問 1 1	グループホーム	今後 3 年ほどの間にグループホームを開設する意向があるか
問 1 2	医療的ケア	対応できる医療的ケアと、新たな利用者を受け入れるにあたって対応の必要性を感じる医療的ケアは何か
新規	強度行動障がい	受入れ状況、今後の受入れについて
問 1 3	災害時	災害発生時から業務復旧までの計画を整備しているか
問 1 4	災害時	災害時に仮に事業所が無事であった場合、障がい者の避難所として開設することはできるか
問 1 5	地域共生関連	職員や利用者が、地域の住民と交流する機会はあるか
問 1 6	地域共生関連	今後、共生型サービスの指定を受ける意向はあるか
問 1 7	地域共生関連	65 歳の方への今後の支援の在り方について、どのように考えるか
問 1 8	地域共生関連	共生型サービスを推進するにあたってどのような課題を感じるか